

【別紙様式】

<p>南阿蘇村は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。</p>			
事業名	南阿蘇鉄道JR乗入支援事業		
総事業費 (千円)	58,683千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	58,683千円
事業概要	<p>①目的 新型コロナウイルス感染症収束後の南阿蘇鉄道利用喚起並びに南阿蘇地域への観光誘客のため、施設等の環境整備を支援する。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 支援金（補助金） 施設整備費、システム改修費等 58,683千円 117,367千円を高森町：南阿蘇村 = 1：1</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 南阿蘇鉄道(株) 2) 交付対象者の選定理由・選定方法 南阿蘇鉄道は立野駅でJR豊肥本線と接続し、肥後大津・熊本方面、阿蘇・竹田方面などの地域外への通勤・通学、買物、通院など日常生活の主な交通手段として、また、阿蘇くまもと空港の最寄駅である肥後大津駅から南阿蘇地域へ観光客を呼び込む役割を担っている。このことから、新型コロナウイルス感染症収束後、地域住民のニーズに対応した公共交通網の構築や熊本都市圏と南阿蘇地域を結ぶ広域観光ルートの整備として、南阿蘇鉄道(株)が実施するJR乗入事業に対し支援金（補助金）を交付する。</p> <p>④期待される効果 令和5年7月15日の全線再開後の利用者増を見込んでいる。 ・通勤定期 2738人（1年目） → 6319人（10年目） ・通学定期 1916人（1年目） → 4212人（10年目） ・定期外 12319人（1年目） → 33580人（10年目）</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>南阿蘇鉄道(株)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う令和元年度からの輸送人員の減少により、このままでは鉄道事業の継続が困難な状況に陥っている。</p> <p>南阿蘇鉄道(株)を交付対象者として支援金を交付し、鉄道事業の継続を支援する本事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている地域経済の支援を通じた地方創生に資する事業に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		